

令和4年度 第1回 鳴門高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和4年6月14日（火） 10時から12時まで

2 場 所 鳴門高等学校 視聴覚室

3 会 議

(1) 開会

(2) 自己紹介

(3) 任命

校長より学校運営協議会の各委員へ任命状が配付された。

(4) 学校長挨拶

① 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の概要について

校長から学校運営協議会の概要の説明があった。また現在の本校の課題、めざすべき方向性への連携を求めた。

② 本校の現状について

学校紹介動画を視聴し、現状を説明するとともに、学校案内、校誌「潮流」を紹介した。

③ 役員の選出について

前年度に引き続き、会長に村澤普恵様、副会長に横田校長が承認された。

(5) 協議

① 令和4年度の学校経営方針・教育課程の編成・学校評価総括評価表について

・学校経営方針について、横田校長より説明があった。本年度は、重点課題として「人権教育の推進」「開かれ・信頼される学校づくりの推進」を強化した学校経営方針を説明し、承認された。

・教育課程について、全日制斎藤教務課長、定時制樽見教頭より説明し、承認された。

・学校評価総括表について事務局が説明し、委員の皆様より、次のようなご意見をいただいた。

重点目標「人権教育の推進」「仲間づくりの推進」の評価指標に生徒の変容を入れてはどうか。

また一部の重点目標で評価指標を達成するための活動計画が入っていないとのご指摘があった。

このことについて、事務局は前向きに検討すると回答した。

ビブリオバトルについてどのようにしているのかとの質問があった。事務局の回答に対して、きめ細やかに指導することで将来のためになるとのご意見をいただいた。

定時制の進路指導についての質問があった。事務局より進路実績についての評価指標が無いのは、全日制の生徒との進路意識が異なるためであると回答した。

② スクール・ミッションについて

昨年度設定されたスクール・ミッション、スクール・ポリシーについて、全日制渡辺教頭、定時制樽見教頭が校誌「潮流」を用いて説明した。

③ これまでの地域との連携・昨年度実施したコミュニティ・スクール連携事業等(全日・定時制)について、資料「Naruto High School & Community」を用いて事務局が説明した。

④ 熟議

テーマ「昨年度の本協議会に参加されたご感想と今年度取り組んでみたいと思われること」
(各委員からの意見・提言について)

- ・学校運営協議会で話し合った事が、連携事業を通してフィードバックされているところが良い。
- ・コミュニティ・スクールのしくみを生かして、たくさんの教育活動ができています。大塚製薬工場やエシカルの講演会など、課題解決力につながっている。大学では、連携を通じて院生が人権教育等のお手伝いができる。
- ・小中高でコミュニティ・スクールが異なる。地域との関わりが異なるが、行政として出前講座等で協力したい。
- ・入学から3年間、コロナ禍で学業以外に何もできなかった生徒の気持ちや意見を知りたい。
- ・ラグビー教室を通して、コミュニケーションの取り方が学べた。高校生に活動メニューを考えさせることで、コミュニケーションの上達になれば良い。
- ・企業では自分で考える訓練が大切。サステイナブルな生徒になってほしい。学校教育と社会人になってつながってほしい。
- ・県下最大数の生徒をいかに導くか難しい。家庭教育も大切である。
- ・自己肯定感を生徒に与える具体的な目標が大切である。
- ・多岐にわたる活動ができています。コロナ、戦争、学べる機会があることのありがたさ、感謝の気持ちを学べる機会が大切である。
- ・コミュニティ・スクール連携事業の計画が実行に移せたことが良かった。生徒が、自分たちのために支援してくれていることを実感できた。

(6) その他

- ① 第2回学校運営協議会(11月の予定)について連絡した。
- ② 委員のみなさんから、鳴門高校生へのひとこと(コミュニティ・スクールへの意気込みや鳴門高校生へのメッセージ等)をメッセージシートに書いていただいた。

(7) 閉会

※委員のみなさんから、鳴門高校生へのひとこと(メッセージシートより一部抜粋)

- ・努力を惜しまず、楽観的に取り組むこと。
- ・あなたの頑張りを誇りに思う人がいます。めちゃくちゃ応援しています。
- ・毎日、学ぶ場があり、友達と会えることに感謝の気持ちを持ち、知識を身につけ、いろいろな経験をし、生きる力を育んでください。
- ・今日という日は、二度とやってきません。1日1日を大切に、自分の夢を形にするため、頑張ってください。